

# 『PCA hyper 給与シリーズ』 リビジョンアップに伴う機能変更について

KDH231031

本紙では、『PCA hyper 給与シリーズ』のバージョン 1.0、リビジョン 6.21 のプログラムでの仕様変更点をまとめております。操作方法などの詳細につきましては、ヘルプをご覧ください。

※ご利用のシステムにより、一部搭載されていない機能があります。

※旧製品からの変更点ではありませんのでご注意ください。

## ◇税制改正対応

- ・令和 5 年の源泉徴収票（給与支払報告書）の変更に対応しました。
  - ・控除対象扶養親族の区分の記載方法の変更に対応しました。
  - ・給与支払報告書の摘要へ退職所得がある家族を出力します。
- ・令和 5 年の源泉徴収簿の変更に対応しました。
  - ・扶養控除等の各種控除額を表示するように変更しました。

## ◇「社員」－「社員登録」－「社員情報の登録」

「家族タブ」に住民税寡婦等区分を追加しました。

## ◇「年末調整」－「年末調整控除項目入力」

- ・住宅借入金等特別控除で控除の種類に特例居住用家屋、特例認定住宅等に該当する選択肢を追加しました。

## ◇「年末調整」－「申告書データ収集」－「年末調整データの受入」

令和 5 年から追加される以下の電子控除証明書の読み込み、表示に対応しました。

- ・小規模企業共済の電子控除証明書
- ・住宅借入金等特別控除証明書の令和 4 年以降用電子控除証明書

## ◇「年末調整」－「給与支払報告書/源泉徴収票」

- ・「単票用紙 給与支払報告書（個人別明細書）」、「単票用紙 電子申告用（受給者交付用のみ）」で A4 横 1 枚に 2 名分出力できるようになりました（印刷後に切り離してお使いいただけます）。

## ◇「随時」－「PCA Hub 連動設定」

PCA Hub のユーザー登録、ライセンス登録を直接連動できるようになりました。

## 互換性に関する変更点

### ◇データ領域の更新について

以下のデータ構造を拡張したため、データ領域のバージョンを「7.53」に更新しました。

- ・社員年調マスター
- ・社員扶養
- ・扶養親族(翌年)

### ◇APIの変更について

社員マスター 年末調整マスターに項目追加

- ・扶養控除等申告書 住民税寡婦等区分
- ・住宅借入金等 1 回目 控除の種類、住宅借入金等 2 回目 控除の種類、住宅借入金等 3 回目 控除の種類  
「5：一般（特家）」「6：認定（特家）」「7：震災（特家）」を追加しました。

給与支払報告書に項目追加

- ・退職手当等を有する家族の一覧
- ・摘要(退職手当等を有する家族)
- ・住宅借入金等 1 回目 控除の種類、住宅借入金等 2 回目 控除の種類、住宅借入金等 3 回目 控除の種類  
「5：一般（特家）」「6：認定（特家）」「7：震災（特家）」を追加しました。

給与支払報告書（扶養親族）に項目追加

- ・非居住者である親族の詳細区分

給与支払報告書（家族）追加

### ◇汎用データの変更について

以下のデータレイアウトを変更しました。

- ・外部マスター  
扶養（20615 番）  
年末調整マスター情報 2（20804 番）
- ・汎用データ  
社員マスター  
年末調整データ